

編集後記

新型コロナウイルス感染症の第8波もようやく落ち着きをみせ、3月13日からはマスク着用も個人の判断になりました。社会が活気と落ち着きを取り戻していき、お花見も解禁されることは大変うれしいことですが、医療者にとっては状況が大きく変わるわけではなく、引き続き気を引き締めて業務にあたらなければなりません。思えば、未知の感染症の蔓延は今後もあり得るわけで、パンデミック前と全く同じ気持ちにはなれないというのも正直なところではあります。

コロナ禍の間に働き方改革もあり、今後は本格的に長時間労働が制限されますが、専修医教育に関する自己研鑽と労働の線引きは、自分たちが研修していたころとは全く異なるため、教育する側としては難しさを感じます。昨今ではChatGPTに関して、学生教育や研究者の論文作成への利用をどのように認めていくかが話題になっていますが、さまざまな分野におけるAI活用の流れは止められるわけがありません。新しい

流れをどう捉え、新技術をどう活かしていくか、組織や指導者の手腕が問われているように感じます。

さて、今回の特集は「わかりやすい オートファジーと眼疾患」です。オートファジーなど、学生のと看以来、離れてしまっている先生方も多いと思いますが、眼科領域でも重要な生理機能であることが報告されています。本特集では、水晶体、加齢黄斑変性、緑内障、網膜神経節細胞、角膜についてこの領域の知見を解説いただきました。“とっつきにくい”ところもあるかもしれませんが、ぜひご一読ください。また、総説は「緑内障の黄斑手術」と「近視進行の分子細胞生物学的メカニズム」「COVID-19・COVID-19ワクチンと視神経炎」という臨床のトピックを大変わかりやすくまとめていただいています。

先生方におかれましては、診療の際の知識の整理とアップデートに本号を活用いただければ幸いです。

(根岸一乃・記)

編集：後藤 浩・飯田知弘・雑賀司珠也・門之園一明・石川 均・根岸一乃・福地健郎
編集顧問：所 敬・小口芳久・臼井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治・三村 治・飯島裕幸・
坪田一男・富田剛司

「眼 科」 第65巻 第4号 4月号

2023年4月5日発行（毎月1回5日発行）

定価 3,190 円（本体 2,900 円＋税 10%）

年間講読料金

定価 47,630 円（本体 43,300 円＋税 10%）

〔年間 13 冊（臨時増刊号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03 (3811) 7165 [編集室直通]

Tel 03 (3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03 (3622) 6161

広告申込先 福田商店 Tel 06 (6941) 5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、e-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。